

令和7年度「シラバス」 教科：保健体育 科目：保健

単位数	1	学科（型） 学年	工業科 1 年	教科書 副教材等	新高等保健体育（大修館書店） 新高等保健ノート（大修館書店）
学習目標		1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第1単元 現代社会と健康 1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択 5 現代における感染症の問題 6 感染症の予防 7 性感染症・エイズとその予防			・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解し、健康水準や疾病傾向と社会との関わりを理解する。 ・健康の構成要素や健康にかかわる要因を理解する。 ・ヘルスプロモーションの考え方や健康を保持増進する方法を理解する。 ・健康を保持増進するための適切な意思決定・行動選択とは何かを考える。 ・感染症の種類や発生要因、感染症に関わる現状を理解する。 ・感染症予防の三原則と予防のための個人や社会の取り組みを理解する。 ・性感染症、エイズの現状と課題、予防に必要な個人と社会の取り組みを理解する。	
2	8 生活習慣病の予防と回復 9 身体活動・運動と健康 10 食事と健康 11 休養・睡眠と健康 12 がんの予防と回復 13 喫煙と健康 14 飲酒と健康 15 薬物乱用と健康 16 精神疾患の特徴 17 精神疾患への対応			・生活習慣病のリスク因子と予防や回復のために必要な取り組みを理解する。 ・身体活動、運動と健康の関係や継続的に必要な個人や社会の取り組みを理解する。 ・食事と健康の関係を理解し、食生活指針を実践できる力を養う。 ・休養、睡眠と健康の関係を確保に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。 ・がんの種類を理解し、予防や回復のための取り組みについて理解する。 ・喫煙による健康への影響と健康被害の防止に必要な対策について理解する。 ・飲酒による健康への影響と健康被害の防止に必要な対策について理解する。 ・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・代表的な精神疾患の特徴や症状と発症、回復のポイントを理解する。 ・精神疾患の予防や発見、セルフケアについて考え、取り組みの重要性を理解する。	
3	第2単元 安全な社会生活 18 事故の現状と発生要因 19 交通事故防止の取り組み 20 安全な社会の形成 21 応急手当の意義と救急医療体制 22 日常的な応急手当 23 心配蘇生法実習			・事故が起こる要因を理解し、現状について考える。 ・交通事故防止には個人だけでなく社会的な取り組みも重要であると理解する。 ・安全な社会を作るために必要な個人的取り組みや環境整備について考える。 ・応急手当の意義と救急医療体制の現状を理解し、適切な利用法を身に付ける。 ・けがの基本的な応急手当の方法と熱中症の予防、適切な対応を身に付ける。 ・心肺蘇生法やAEDを用いて実習を行い、知識と実践力を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技能		・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。			
思考・判断・表現		・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度		・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む学習に主体的に取り組もうとしている。			
評価方法	学習状況は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価の観点で評価します。主に「出席の状況」、「授業中の態度や取り組み姿勢」、「提出物」、「定期考査」等により評価します。また、学年の成績は上記の観点から評価した各学期の成績の相加平均とし、5段階法でも評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 定期考査は授業の内容から出題します。対策プリントが配布された場合は各自でしっかり復習を行ってください。					
○ 授業の50分間を大切に、積極的に取り組みましょう。					
○ 課題は必ずやりましょう。ていねいに取り組み、提出期限は守りましょう。					

